

# 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
芸術	美術 I	1	全	選択	2
使用教科書 ・副教材等	高校生の美術 1 (日本文教出版)				
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考査まで	1 絵画 (1) スケッチ ・見つけて描く (2) 鉛筆デッサン ・デッサンの基本 ・形態の把握 ・量感、存在感の表現 2 デザイン (1) 色彩構成 ・色彩の基本 ・色の見え方と構成美 (2) ポスター ・ポスターの要素 ・下描き、着彩計画 ・レタリング ・着彩と仕上げ ・作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象を見つけて感じ取ったことや考えたことから表現方法の特性を生かして主題を追求し表現する。</li> <li>描画材の特性や扱い方を理解し、配置や構図を工夫して表現する。</li> <li>色彩構成の目的や条件、造形的な美しさとの調和を考え、表現の構成を練る。</li> <li>技法や材料、用具の特性を理解し、その特性や効果を生かした表現をする。</li> <li>情報伝達の機能に関心を持ち、視覚的な美しさや効果的な表現について理解する。</li> <li>生活や社会を心豊かにするデザインの役割や意義について理解を深める。</li> </ul>
一学期期末 考査まで	3 絵画 「油彩画」 ・油彩の特性と表現方法について ・構図と配置 ・下地の処理 ・明暗と空間感の表現 ・色彩の調和 ・マチュールの効果 ・画面の見せ方 ・作品鑑賞 4 鑑賞 ・興味のある作品 ・日本美術の変遷 ・日本美術の表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材や道具の特性に関心を持ち、その特徴を生かしながら計画的に制作し、表現することの楽しさを味わう。</li> <li>目的や意図に応じて効果的な表現方法を探るとともに、形体や色彩、質感、空間などの表現を工夫する。</li> <li>日本の伝統的な美術の表現について関心を持ち、暮らしの中で生かされてきた美術の役割について理解する。</li> <li>作品からその美しさやよさ、作者の心情や意図と表現の工夫について感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを理解する。</li> </ul>
学年末 考査まで	5 彫刻 「塑像」 ・彫刻について ・量感の表現 ・着色の技法 ・作品鑑賞 6 映像メディア ・アニメーションについて ・絵コンテの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>塑像の材料や用具の特性や効果を生かし、表現方法を工夫しながら主題を追求して表現する。</li> <li>アニメーションの特性を理解し、効果的な表現を工夫する。</li> </ul>
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 出席状況や授業の態度、学習プリントの記述内容等で評価する。</p> <p>【発想や構想の能力】 作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p> <p>【創造的な技能】 作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p> <p>【鑑賞の能力】 鑑賞活動の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p>	

